

# 学校元気アップからのお知らせ

令和3年 2月吉日  
大阪市立東中学校  
学校元気アップ地域本部



## 2月図書室開館スケジュール

向春の候となりましたが、2月も1月にまして寒い日が続いています。コロナ・インフルエンザ対策として、「うがい、手洗い、マスク着用」を徹底するようにしましょう。

3年生の皆さんは受験本番ですね。健康管理には十二分に留意し、早めに朝型の生活に切り替えることをおすすめします。自分を信じて、あせらず平常心で、着実に進路を切り開いてください。

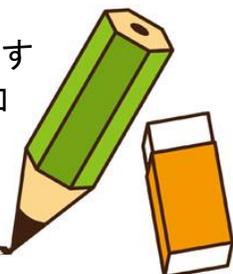
1・2年生の皆さんも、人ごとではなく受験の時期は着実に近づきつつあります。今月末には、1年の総まとめを行う学年末テストがあります。苦手な科目・分野でも、真正面から受け止めて仕上げていきましょう。元気アップでもテスト前学習会を行います。ふるって参加し、時間を有意義に活用するようにしてくださいね。

### テスト前学習会のお知らせ

2月は24日(水)・25日(木)・26日(金)に1・2年生学年末テストが行われます。

元気アップでは2月17日～25日(土・日・祭日除く)まで図書室を中心に「テスト前学習会」を開きます。

別途、参加申込書を配布し受付を行いますので、都合のつく日時には、短時間でも参加してみてください。



学習会の終了時間は、場合により延長することもできます。当日元気アップ担当者に相談してください。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
01 昼	02 昼	03 昼	04 昼	05 短昼	06	07
×	放課後 16:30まで	放課後 16:30まで	放課後 16:30まで	×		
08 昼	09 短昼	10 短昼	11	12 短昼	13	14
×	×	×		×		
15 昼	16 昼	17 昼	18 短昼	19 短昼	20	21
放課後学習会 16:30まで	放課後 16:30まで	テスト前学習会 16:30まで	テスト前学習会 16:00まで	テスト前学習会 16:00まで		
22 短昼	23	24	25	26	27	28
テスト前学習会 16:00まで		← 1・2年生学年末テスト →				
		テスト前学習会 14:20まで	テスト前学習会 14:20まで	×		

ボランティアをして頂ける方は学校までご連絡ください。学校電話 06-6941-0195 (元気アップ担当まで)



## 今年の節分は2月2日って知ってますか？

令和3(2021)年の節分、恵方は南南東で



2月といえば節分です。そして、節分の行事といえば豆まきが多く地域で行われています。これは、宮中で節分に行われていた「追儺（ついな）」という鬼払いの行事が広まったものだそうです。「鬼は外、福は内」の厄除けでもおなじみですが、最近は恵方に向けて恵方巻を無言でほおぼることも定番となってきました。

そんな節分、今年は何だか変なことが起こっています。恵方巻を販売する店頭で「今年の節分は2月2日です」と書かれた広告を目にしました。

「節分=2月3日」ではない理由、気になるので国立天文台 天文情報センター 暦計算室のサイトを調べてみました。

## 節分の日が動き出す

豆まきなどの行事でおなじみの節分。節分はいつかと聞かれたら2月3日と答える人も多いだろう。しかし、この日付は固定ではなく、令和3年(2021)には2月2日となる。3日でなくなるのは昭和59年(1984)2月4日以来37年ぶり、2日になるのは明治30年(1897)2月2日以来124年ぶりのことである。どうしてこのようになるのか、簡単にまとめておこう。

節分は季節を分けるという意味の雑節で、本来は各季節の始まりである立春・立夏・立秋・立冬の前日それぞれを指すはずだが、そのうち立春の前日だけが残ったものとされている。つまり、立春が定まれば節分もその前日として定まるわけだ。

地球は1年かけて太陽の周りをまわっている。地球の自転軸は地球の運動面に対して垂直ではないから、北極側が太陽を向く時期と逆を向く時期が存在することになる。北半球においては前者が夏で後者が冬、その中間は春や秋となり、地球が軌道上のどこにいるかによって季節は定まる。(中略)1年=365日と知っている人もいるだろうが、この地球の運動=季節めぐりこそが、真の1年=1太陽年≈365.2422日=365日+6時間弱なのである。この6時間弱という端数のために春分点通過時刻は年々遅くなっていく。といっても4年経つとその累計はほぼ1日になるから、4年おきに1日増やす、つまり閏年(うるうどし)を作ることによってだいたい元の状態に戻すことができる。このように、季節と日付が大きくずれていかないようにすることが閏年を設ける理由である。(国立天文台 天文情報センター 暦計算室より抜粋)

閏(うるう)年として4年毎に1日24時間プラスし調整しても、厳密には立春の時刻は4年ごとに約45分早くなっていきます。そこでさらに細かい補正のため、西暦が100で割り切れ400で割り切れない年は、閏年を減らしています。このように季節がずれていかないように、以上のような調整をして決めています。

こうして、前回2月3日が立春だった1897年から124年ぶりに2021年の立春が2月3日となり、節分が2月2日になります。

(節分だけに、豆知識ということで。((`v´))カケラ)

